安達地方広域行政組合告示第１６号

安達地方広域行政組合財政状況の作成及び公表に関する条例（昭和４７年安達地方広域行政組合条例第１９号）の規定に基づき、令和５年４月から令和５年９月までの財政状況及び前年度決算の概要について公表する。

令和５年１２月１日

安達地方広域行政組合管理者　三保　恵一

安達地方広域行政組合財政状況

１　収入及び支出の概況

区　　分	収　　入	支　　出
令和５年　４月	２９２，０１７，８８８円	５５１，０２９，４７７円
令和５年　５月	１，３２８，３５３，３９６円	１，２８３，２１８，０８０円
令和５年　６月	５５０，６８９，１９２円	６１３，３５３，４８６円
令和５年　７月	２８８，７６４，９４５円	２０３，２４４，６４０円
令和５年　８月	２７３，９５７，４３２円	２０１，４７６，５０９円
令和５年　９月	７４７，４８９，５４２円	７１５，１３２，６５７円

２　財産

⑴　期間中に取得した財産

①　公有財産

なし

②　物品（取得価格１００万円以上のものを記載）

・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入　６７，９８０，０００円

③　基金（積立額）

・財政調整基金　２３，１８２円

・廃棄物処理施設整備基金　５０，０００，０００円

⑵　期間中に処分した財産

①　公有財産

なし

②　物品（更新に伴う処分を除く。）

なし

③　基金（取り崩し額）

なし

３　組合債現在高（令和５年９日末日現在）

７１２，０４６，１３１円

４　一時借入金の現在高

０円

５　前年度決算の概況

⑴　総　括

令和４年度一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入決算額が 4,690,892,263 円、歳出決算額が 4,452,679,366 円で、差引残額は 238,212,897 円となった。

⑵　一般会計

①　決算の規模

歳入が 4,687,525,046 円、歳出が 4,449,312,149 円、差引 238,212,897 円となり、前年度と比較すると歳入で 2,813,822,724 円（37.5%）の減、歳出で 2,820,776,510 円（38.8%）の減となった。

②　決算収支

財政運営の状況を判断するための基準とされる当年度実質収支額は、238,106,697 円となった。

③　歳入の状況

１款の分担金及び負担金は、決算額 2,990,724,000 円で、前年度と比較して 173,551,000 円（6.2%）の増となっている。

２款の使用料及び手数料は、決算額 133,093,118 円で、前年度と比較して 4,617,739 円（3.6%）の増となっている。主なものは、あだたら聖苑関係使用料 31,464,800 円、もとみやクリーンセンター関係手数料 75,388,700 円、あだたら環境共生センター関係手数料 22,256,644 円などである。

３款の国庫支出金は、決算額 2,219,884 円で、前年度と比較して 2,532,923 円（53.3%）の減となっている。内訳は廃棄物処理施設モニタリング等事業費補助金 1,631,520 円、原子力災害避難指示区域消防活動費交付金 588,364 円である。

４款の県支出金は、決算額 1,052,570,706 円で、前年度と比較して 2,796,181,060 円（72.7%）の減となっている。内訳は除染対策事業交付金 1,044,237,883 円、救急業務高度化推進事業補助金 1,278,000 円、福島県新型コロナウイルス感染症医療提供体制整備事業負担金 7,054,823 円である。

５款の財産収入は、決算額 28,663,617 円で、前年度と比較して 6,224,673 円（27.7%）の増となっている。内訳は財産売払収入として、もとみやクリーンセンターにおける資源物の売払収入 26,702,330 円、不用品売払収入 786,070 円、その他は財産運用収入である。

６款の寄附金は、前年度に引き続き収入がなかったものである。

７款の繰入金は、決算額 121,810,400 円で、前年度と比較して 14,520,400 円（13.5%）の増となった。安達地方地域振興基金から、衛生費の蛍光灯破砕機購入及び消防費のデジタル無線施設維持に充当したほか、財政調整基金から、電気料金高騰により各施設の電気代に充当したものである。

８款の繰越金は、決算額 231,259,111 円で、前年度と比較して 84,845,741 円（26.8%）の減となった。

９款の諸収入は、決算額 127,184,210 円で、前年度と比較して 109,576,812 円（46.3%）の減となった。主なものとして、福島第一原子力発電所事故による東京電力からの損害賠償金が 68,498,585 円、容器包装リサイクル協会拠出金 21,413,30 円、高速道路救急業務支弁金 5,057,430 円、物品調達違約金 11,424,482 円などである。

１０款の組合債は、新たな借り入れはなかった。

なお、調定額に対する収入済額の比率（収入率）は 100％で、不納欠損額及び収入未済額はなかった。

④　歳出の状況

１款の議会費は、決算額が 630,693 円（執行率 89.2%）で、前年度と比較すると 19,825 円（3.0％）の減となっている。

２款の総務費は、決算額が 114,771,064 円（執行率 98.6%）で、前年度と比較すると 1,759,153 円(1.6%)の増となっている。地方公務員等共済組合法の改正に伴うシステム改修が主な要因である。

３款の衛生費は、決算額が 2,944,964,674 円（執行率 95.9%）で、前年度と比較すると 2,747,212,337 円（48.3%）の減となっている。主な要因は除染廃棄物の焼却処理が令和４年２月に完了し、仮設焼却施設解体事業のみとなったことにより、除染廃棄物減容化事業が、前年度と比較し 2,798,977,888 円減の 1,044,433,883 円となったことによるものである。除染廃棄物減容化事業を除いた衛生費は、1,900,530,791 円となり、前年度と比較し 51,765,551 円の増となっている。これは各施設における工事費、委託料及び電気料の増が主な要因である。

４款の消防費は、決算額が 1,221,378,418 円（執行率 94.2%）で、前年度と比較して庁舎等整備事業費が減少したほか、消防車両購入費も減少したため、110,732,980 円（8.3%）の減となっている。

５款の公債費は、定期償還に係るものであり、決算額は償還元金 165,545,568 円及び償還利子 2,021,732 円で合わせて 167,567,300 円（執行率 99.9%）で、はしご付消防自動車の償還が令和４年度から開始されたことにより、前年度と比較して 35,429,479 円(26.8%)の増となっている。

歳出における不用額は 294,826,511 円で、執行率は 92.4%である。

⑶　安達地方地域振興事業特別会計

①　決算の規模

歳入歳出ともに3,367,217円で、前年度と比較すると歳入歳出ともに139,873円（4.3%）の増となった。

②　決算収支

当年度実質収支は、差引0円となり翌年度への繰越はなかった。

③　歳入の状況

１款の基金収入は、決算額3,367,217円で、前年度と比較して139,873円（4.3%）の増となっている。内訳は地域振興基金繰替運用益3,263,959円、地域振興基金預金利子103,258円であり、２款繰越金及び３款諸収入の決算額は全て0円となっている。

④　歳出の状況

１款の基金造成費は、決算額が367,217円（執行率100.0%）で、前年度と比較して651,307円（63.9%）の減となっている。

２款の事業費は、決算額が3,000,000円（執行率100%）で、内訳は文化支援事業3,000,000円である。

歳出全体における不用額は2,783円で、執行率は99.9%である。。

⑷　基金

①　安達地方地域振興基金

令和４年度末残高は現金及び一般会計への繰替運用分と合わせて1,194,303,267円で、前年度と比較して367,217円の増となっている。

②　安達地方広域行政組合財政調整基金

令和４年度末残高は115,278,848円で、前年度と比較して84,960,062円の減となっている。これは預金利息39,938円の積立を行った一方、85,000,000円を取り崩し各施設の電気代へ充当したことによるものである。

③　安達地方廃棄物処理施設整備基金

令和４年度末残高は266,481,057円で、前年度と比較して67,482,584円の増となっている。内訳は預金利息39,799円のほか、一般会計から本基金へ67,442,785円を積み立てたものである。